

第18回 小川北義務教育学校開校準備委員会 議事概要

議事

・専門部会からの報告

1. 総務・通学部会 部会で挙げた意見は、資料1を参照

①校章について

新しい校章のデザインについては、4月～6月にかけて公募を行い、応募があったデザイン案80点（有効応募数：77点）の中から、7月の総務・通学部会で、10点を選定しました。応募結果は**部会資料1～2**、部会での選定結果は**資料2**をご覧ください。

準備委員会では、部会で選定した10点の中から、1点を選定します。選定方法については、8月20日付の通知において、下記の案でよいか、委員の意見を聴取しました。

全委員が、10点の中から1人2票を投票し、過半数の委員の票を得た1点に決定する。過半数の票を得たものがない場合は、以下のとおり、過半数の票を得たものが出るまで投票を行う。

2回目：得票数上位3点から、1人1票 3回目：得票数上位2点から、1人1票

意見聴取の結果、回答数31、うち賛成31・反対0であったため、上記の案のとおり、投票を行うこととします。

資料2の案の中から、良いと思うデザイン案を2つ選んで、ご回答ください。

②校歌について

新しい校歌の歌詞については、昨年度の準備委員会で決定した作詞者「クロダセイイチ」氏（野田小学区出身、作曲家）に案を制作していただきました。部会では、案について修正をお願いしたい点がないか、検討しました。歌詞の原案及びクロダ氏による解説は**資料3**をご覧ください。

検討の結果、修正をお願いしたい点が挙げられたため、挙げた意見をクロダ氏に伝え、修正案を制作していただくこととしました。

部会の意見を反映した修正案及び修正部分の解説は、**資料4**となっております。

資料4の歌詞について、ご意見がございましたら、ご自由に記入してください。

③通学体制について

下吉影小学区を通るスクールバス（荒地・前野公民館ルート）について、経路上の乗降所として新たに「下吉影官舎」を追加することの是非について、検討を行いました。具体的な検討内容については、**部会資料3～4**をご覧ください。

検討の結果、乗降所として「下吉影官舎」を追加することとしました。

部会の検討結果について、承認いただけますでしょうか。賛否をご回答ください。

（裏面に続く）

2. P T A部会 部会で挙げた意見は、資料5を参照

○昨年度の準備委員会で挙げた意見について

昨年度3月の準備委員会において、下記の意見が挙げられたため、部会で検討を行いました。

P T A慶弔規定に、「児童が学校で怪我・発病した場合で、日本スポーツ振興センターの災害共済給付に該当しない場合に、P T A慶弔規程より医療費を負担する」という内容の規定を設けることについて、検討願いたい。

検討の結果、上記の規定は、運用が難しい等の理由から、設けないこととしました。

○P T A事業計画について

令和4年度の事業計画について、**部会資料5**のとおりとしました。

親子レクについては、開校後に検討することとしました。また、家庭教育学級については保留とし、次回の部会で、再検討することとしました。

○立哨活動について

開校後の立哨活動の扱いについて、P T A活動の一環として実施するのか、各地区の自主的な活動として地区に委ねるか、検討しました。結果は、保留とし、次回の部会で、新しい通学路内の危険箇所を確認した上で、再検討することとしました。

○専門委員会（地区委員会・学年委員会）について

新しいP T Aでは、地区委員会委員長は旧小学区（野田・上吉影・下吉影）の輪番、学年委員会委員長は第7学年委員長としておりますが、副委員長については、それぞれどのようにするか、検討しました。また、地区委員をどのように選出するか、検討を行いました。

その結果、地区委員会副委員長は、委員長の地区以外の2地区より選出することとしました。学年委員会副委員長は、6学年と5学年の学年委員長としました。

また、地区委員の選出方法については、保留とし、立哨活動についての方針決定後、改めて検討することとしました。

○顧問について

新しいP T A規約では、「前会長を顧問に置く」こととしているため、開校初年度は、どの学校のP T A会長を顧問とするか検討し、現在の小川北中のP T A会長を顧問とすることとしました。

部会の検討結果について、承認いただけますでしょうか。賛否をご回答ください。

その他（事務局より報告）

スクールバスの運行事業者については、以下のとおり決定しましたので、ご報告します。

事業者	経路
関鉄グリーンバス株式会社 (石岡市)	①世楽コミュニティセンター・佐才コミュニティセンター→学校 ②前原公民館・上吉影小学校→学校 ③飯前→学校
常陽交通株式会社 (小美玉市)	④荒地公民館・前野公民館・(下吉影官舎) →学校 ⑤貝谷公民館・南原公民館・下吉影古新田公民館→学校

総務・通学部会報告

1 開催日時及び出席者数

第9回 令和3年7月28日（水）午後7時～午後8時10分 出席者：9名（欠席者：2名）

2 協議事項

(1) 校章

校章について、部会資料1・2を基に、応募のあったデザイン案の中から、選定を行った。
選定方法は、各自良いと思ったデザイン案を挙げ、挙げた数が少なければ話し合いにより、多ければ部会資料1に記載のとおり投票を行い、10点程度を選定することとした。

挙げた案：計15点（複数人が挙げたものについては、カッコ内に人数を記載）

1（2人）、3、8（2人）、9、14（3人）、19（4人）、20（2人）、28（2人）、
33、37（4人）、40（3人）、43（3人）、49（3人）、69、76

<主な意見>

- ・なるべく色の付いているものがよいと思った。「小」が入っているものは、小学校ではないので、選ばなかった。また、4つを1つにまとめたというものは、新しい学校をつくるということから、選ばなかった。
- ・3つの地域・学校が1つになったものを選んだ。
- ・児童生徒の意見を募ってもよいのではないかと思った。
- ・校名選定の際は、候補を挙げて地域の意見を募った上で決めたかと思うが、校章については、準備委員会だけで1点を選定するというのか。
- ・募集要項において、準備委員会で選定するということを記載した上で公募を行っているので、この方法で進めさせていただきたいと思う。
- ・複数人が挙げたものを数えると、ちょうど10点になるため、投票は行わず、これらを部会案として選定するというのでよいと思う。
- ・著作権的には、問題ないか。
- ・類似したデザインがないか、調査を行った上で、準備委員会に提示する。

<結果>

・応募のあった77点のデザイン案の中から、下記10点を選定した。下記の中から、準備委員会において、1点を選定する。

番号：1、8、14、19、20、28、37、40、43、49

(2) 校歌

作詞者：クロダセイイチ氏に制作していただいた歌詞案について、クロダ氏による解説を参考に、修正すべき点がないか、検討した。

<主な意見>

- ・「風切羽」は母音「え」「い」が続くことや、普段使う言葉ではないことから、低学年にとっては発音しにくい・歌いにくいかもしれない。
- ・「帰る場所」は、成長して旅立つ人の心の拠り所という意味は良いが、ずっと小川北で暮らしていく人もいることを考えると、出ていくことが前提になっているのは違和感がある。
- ・「東風」は難しく、意味が分かりづらい。
- ・「春風」、もしくは単に「風」でもよいのではないか。
- ・「迷い」や「試練」について、それらを乗り越えて希望を持って成長するという内容ではあるが、あまりプラスのイメージがない直接的な言葉を校歌に使うのはどうかと思う。
- ・「ひばり」や「梅」といった茨城県に関する言葉はあるが、小川北学区に直接関連する言葉はない。
- ・「かの地」は「明日」「未来」などとした方が、児童生徒にとっては分かりやすい。
- ・挙げた意見をクロダ氏に伝え、修正していただいたものを、準備委員会に提示することとしたい。
- ・挙げた箇所全てを修正していただけるかは分からないが、説明が足りないと思われる部分は、より詳細な解説をお願いしたいと思う。

<結果>

- ・挙げた意見を作詞者：クロダセイイチ氏に伝え、修正していただいたものを準備委員会に提示する。

(3) 通学体制

下吉影小の保護者より、すでに決定したスクールバスの運行経路上に、新たに乗降所を設けてほしいという要望があったため、部会資料3・4を基に、検討を行った。

<主な意見>

- ・設置基準を満たしており、地域で意見がまとまっているのであれば、設けてよいと思う。
- ・宿地区の保護者からは、前野公民館までの道が危険であるという意見が挙げられている。百里基地に許可をいただけたのであれば、ぜひお願いしたい。

<結果>

- ・スクールバス（荒地公民館→前野公民館→学校を通るルート）の経路上に、新たな乗降所として「下吉影官舎」を追加する。

校章デザイン案 部会選定結果

公募により応募があったデザイン案80点(有効応募数:77点)の中から、総務・通学部会で、以下10点を選定。準備委員会では、以下の中から、1点を選定する。
 ※なお、以下の案に類似したデザインについては、インターネット上で調査可能な範囲において、見受けられなかった。

参考:
 小川北学区小中学校
 校章デザイン

野田小学校



上吉影小学校

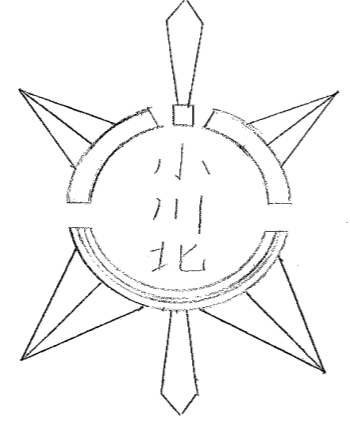
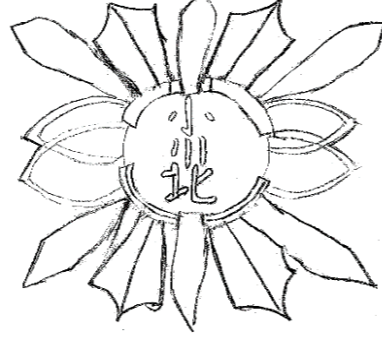
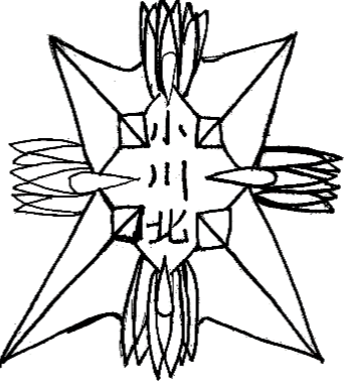
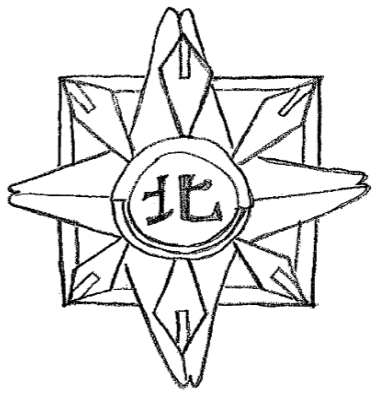
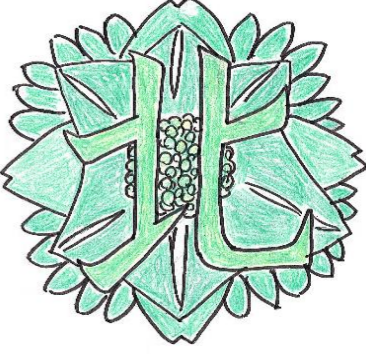
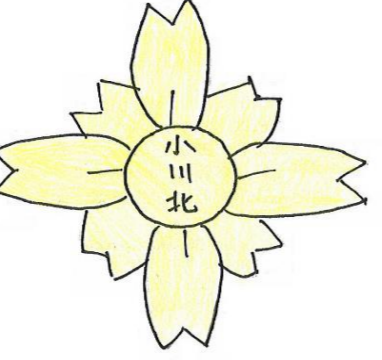


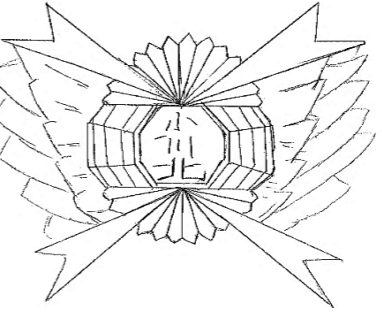



下吉影小学校



小川北中学校



No.	1	8	14	19	20
案					
説明	それぞれの北学区の校章を合わせて作りました。真ん中の円は、上吉影小、下吉影小の校章から。上下の野ぎくの花弁は、野田小から。横は北極星の星を、小川北中から、いただきました。4つの校章を合わせることで、併合をしても、それぞれの学校が引き継ぐ歴史は変わらないということを表現しました。 野菊→素朴で純情、清らか、誠実、逞しく、きびしく、気高い 北極星→協力、友情	☞ →北中 ☞ →野田小の をアレンジしたもの ☞ →上吉影小 ☞ →野田小 3つの学校と中学校がくっついて統一するから、まぜてみた。	中央には各小学校デザインを合体させて、後ろには小川北中学校のデザインにして、小中学校が合わさって、でも小中学校の面影を残しながら小川北義務教育学校を創っていくのをイメージしてつくりました。	野田小、上吉影小、下吉影小、小川北中の元の校章を全て合わせて考えました。真ん中の「北」は小川北義務教育学校の北であることを見せるためです。自分は野田小、小川北中の卒業生なので、こういう学校になってほしいという気持ちを込めて、デザインしました。正方形の部分は、4つの学校が合わさっていることを指しています。	小川北なので、北の字。そこに上吉影小、下吉影小、野田小の校章をあわせてみました。
No.	28	37	40	43	49
案					
説明	コスモスの花びらをモチーフにしました。コスモスは小美玉市の花なので、取り入れました。書いている途中に花びらの形が桜にも見えてきて、新しい学校に良いんじゃないかと思いました。	まわりのラインは、左は「小」右は「川」を表現。クローバーは4つの学校が合併したので	3地区が1つになり、一緒に学び切磋琢磨して新たな歴史を創り新たな花を咲かせていってほしいという想いを込めました。	小川北義務教育学校はいろんなことに鳥のように羽ばたける学校という意味で羽のようなデザインを入れました。	空港と近くにある筑波山を書いた。4つのラインは4つの学校

歌詞解説（作詞者：クロダセイイチ氏より）

改めまして、この度小川北義務教育学校校歌の歌詞を担当させて頂く事になりましたクロダセイイチと申します。
大変貴重で光栄な機会を頂き誠にありがとうございます。
気持ちを込めて作らせて頂きますので最後まで何卒よろしくお願い致します。

<テーマ>

今回歌詞を書くにあたり何点かテーマを作りました。

・私が生まれ育ってきた小美玉市(野田小学校・小川北中学校卒)の空気感や次の社会を担う小美玉市の子どもたち、そしてそれを支える大人たちへの想いと願いを込めて作りたと思いました。

・私は色々な悩みがある時に小美玉市に住むみんなや帰れる場所がある事でとても救われてきました。次の世代の子たちが生きていく中で多くの困難などがあっても前に進む為に挑戦して、そして何か辛い事があった時に帰れる場所が小美玉市であってほしいなと思いました。これから小美玉市で育つ子どもたちにもそんな“ふるさと”を作りた。その想いも歌詞に込めました。

・子どもたちを支える大人たちに向けても言葉を届けたいと思いました。
コロナ禍で生きてく事や今の時代ならではの新しい問題など大変な中で子どもにとってあなた(親や先生)がとても大切で必要だという事を伝えていきたいです。

保護者の方や先生たちや小美玉市に関わるみんなの希望や光を感じる作品にしたいです。

<歌詞の構成につきまして>

・歌詞に関しましてリズムや流れを考えて1行が7文字・5文字で構成された計7行で1番を作る事にしました。
5行目のみ8文字・5文字で構成しており最後の2行(サビ的部分)が映えるように作りました。

・1番朝、2番昼～夜、そして朝へという時間の流れを入れて作りました。
日々を過ごす感じや、最後夜からまた朝へというところに光や希望をより感じさせる構成になっております。

・歌詞の内容に関して
1番毎に小美玉市の象徴になるもの(ヒバリ、梅)、子どもや大人への想いや願い、小美玉市がふるさと(帰る場所)になってほしいという気持ちを込め言葉を書きました。

“小川北”と“地域に関する言葉”も1番毎に入れております。

<歌詞に関しての解説や想い>

・1番
ひばり→茨城の象徴の鳥。春を告げる鳥。朝を象徴する鳥。
迷いもたずさえ→このセクションだけ8文字になっているのですが、最後の2行がサビ的なイメージなので(強調したい)そこに繋がる為の助走という意味を込めて8文字に敢えてしております。(2番も同様です)
風切羽→鳥類の翼後方に整列している羽。鳥が飛ぶ為にとっても必要な羽。飛ぶ為に支える象徴という意味で歌詞に使いました。

・2番
梅→茨城県を象徴とする花。春を告げる花→物事のはじまりを連想。
東風に吹かれて→菅原道真が太宰府に左遷されるときに別れを惜しんで読んだ句“東風に吹れば春の梅”からその想いも込めて一部近い言葉の形で使わせて頂きました。
こぼれて見果つ→梅に関しては散ると言わず、こぼれるという。見果つは見届けるという意味。

・2番後の3行
こちらは歌でいう大サビのようなイメージのセクションになります。
小美玉市が次の世代を生きる子どもたちの支えになって欲しいという気持ちを最後に込めました。卒業式や大切な式典の時にだけ歌う箇所というのも良いかと思っております。

<最後に>

少し難しい表現も入っているのですが9年という時間を過ごす中で子どもたちが成長していく日々はこの言葉の意味もわかっていって欲しいという気持ちも込めて言葉を選ばせて頂きました。
ご拝読何卒よろしくお願い致します。

Genius P.J's/Super Squall

クロダセイイチ

校歌案

ひばり^と飛び立つ^た 朝^{あさ}焼け^やに
筑波^{つくば}の山^{やま}が 春^{はる}を告^つぐ
重ね^{かさ}た日^ひ々に 背^せを押^おされ
交^かわした言^{こと}葉^は 光^{ひかり}舞^まう
迷^{まよ}いもたず^さえ 巣^す立^たつとき
風切^{かぜきり}羽^{はね}は 小川^{おがわ}北^{きた}
まばゆい希^き望^{ぼう} 帰^{かえ}る場^{ばしょ}所^{しよ}
梅^{うめ}咲^き誇^{ほこ}る 白^{はく}日^{じつ}に
東^{こち}風^ふに吹^ふか^かれて 明^あ日^{した}へ^と
こぼ^これて見^み果^はつ その先^{さき}に
試^{しれん}練^{れん}のとき^{とき}が 来^こよう^とも
あな^あたの想^{おも}い^いを 胸^{むね}に抱^だき
か^かの地^ちに続^{つづ}く 小川^{おがわ}北^{きた}
決^{けつ}意^いの鐘^{かね}が 鳴^なり響^{ひび}く
過^すごした^たふる^さと 思^{おも}う^たび
い^いのち輝^{かがや}く 小川^{おがわ}北^{きた}
夜^よ明^あけを越^こえて 帰^{かえ}る場^{ばしょ}所^{しよ}

歌詞修正部分解説（作詞者：クロダセイイチ氏より）

大変お世話になっております。
 クロダセイイチです。
 コロナ禍で色々と大変な中ですがお元気にお過ごしでしょうか？
 心身共に大変な時期でございますが皆様が少しでもお元気に過ごされている事を願っております。
 会議で色々のご意見頂き誠にありがとうございます。
 私の持っていなかった視点のご意見を頂きとてもご参考になりました。
 頂いたご意見を元に小川北義務教育学校の校歌が関わってくれる皆様にとって大切な歌になるように考え修正をさせて頂きました。
 こちらの解説も踏まえ新しい歌詞をご覧頂けますとうれしいです。
 よろしくお願い致します。

<修正点>

“風切羽は”

こちらはご意見頂いた通り発音がしにくいという部分も考慮しまして“未来を灯す”という言葉に変更致しました。小川北という場所が次の世代を担う子たちの灯火になればという想いを込めてこの言葉にしました。

“帰る場所”

小川北で暮らしていく方々の事を考えると違和感があるというご意見を頂きました。
 この言葉の部分は小川北に暮らす人にも、旅立った人にも小川北で過ごした全ての方々の帰る場所(=家や心の拠り所)と在って欲しいという意味を込めてこの表現を使わせて頂きました。
 どんな人たちにも帰る場所があるということは救いになると思います。
 踏まえてこのまま使用させて頂ければというのが私の想いです。

“迷い”, “試練”

プラスのイメージが無いというご意見を頂きました。
 確かに単体の言葉自体にプラスのイメージは無いのですが多感な時期を過ごす子たちが悩むところにも寄り添いたいと思いの言葉をかわせて頂きました。
 全体で詩を見た時にこの言葉がある事で光のある言葉がより輝きを増すと思います。
 更に音やメロディが入る事でそのマイナスの印象をもつこの言葉に意味を持たせ、次の光になるセクションへの架け橋になると思っております。

“東風に吹かれて”

「東風」だと単語としてわかりにくいと思い、共通イメージのつきやすい“春風”に変更をしました。春風は自分を未来に導いてくれ、未来に背中を押してくれるイメージを持ちこの言葉を選びました。

“ひばり”, “うめ”

小川北に直接関係がないというご意見を頂きました。
 こちらは茨城の象徴になる鳥と花を使わせて頂きました。
 言葉やテーマとして広げやすい部分や未来に繋げる象徴として相応しい部分、言葉の響きの綺麗さや発音もしやすいという部分も含めてこちらの言葉が使いたいと思っております。

“かの地”

児童生徒にとってわかりやすい言葉がよいのでは？というご意見を頂き、今ある歌詞に1番よい形だと思う「いつかに続く」に変更させて頂きました。

<最後に>

小川北義務教育学校校歌がより良いものになるように皆様のご意見やご感想頂きとても嬉しかったです。
 私もこの校歌が多くの方の力になれるように真剣に考えてこの形になりました。
 9年という長い時間の中で小川北義務教育学校生徒がこの校歌と共に成長できるものになればと思っております。
 引き続きどうぞよろしくお願い致します。

Genius P.J's/Super Squall
 クロダセイイチ

校歌・修正案

……言葉を変更した箇所
 ……原案のままとした箇所

ひばり飛び立つ 朝焼けに
 筑波の山が 春を告ぐ
 重ねた日々に 背を押され
 交わした言葉 光舞う
 迷いもたずさえ 巣立つとき
 未来を灯す 小川北
 まばゆい希望 帰る場所
 梅咲き誇る 白日に
 呼ぶは春風 明日へと
 こぼれて見果つ その先に
 試練のときが 来ようとも
 あなたの想いを 胸に抱き
 いつかに続く 小川北
 決意の鐘が 鳴り響く
 過ごしたふるさと 思うたび
 いのち輝く 小川北
 夜明けを越えて 帰る場所

P T A部会報告

1 開催日時及び出席者数

第5回 令和3年8月3日（火）午後7時～午後8時35分 出席者：12名

2 協議事項

◎昨年度の準備委員会で挙げた意見について

昨年度3月の準備委員会において、以下の意見が挙げられたため、部会で検討を行った。

P T A慶弔規定に、「児童が学校で怪我・発病した場合で、日本スポーツ振興センターの災害共済給付に該当しない場合に、P T A慶弔規程より医療費を負担する」という内容の規定を設けることについて、検討願いたい。

○独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度

＝学校の管理下で発生した災害（負傷・疾病）で、医療費総額が5,000円以上（自己負担額が1,500円以上）のものについて、給付金が支給される。

医療費総額が5,000円未満（自己負担額が1,500円未満）の場合は、給付制度に該当しない。

○市内のP T Aにおける規定の有無

規定がある学校……野田小、竹原小、納場小、下吉影小（本年度より）

過去3年間では、竹原小で1件、野田小では7件、規定を利用したことがあった。

<主な意見>

- ・児童が怪我した際に加害者と被害者がいる場合、医療費の支払に関してトラブルになる可能性もあるので、規定を設けてもよいと思う。
- ・当事者以外から集めたお金の中から医療費を出すのはどうかと思う。
- ・規定があることを知らない場合もある。申告漏れもあるのではないか。
- ・設けなくてよい。金銭的なことよりも、どうして怪我をしたのかということが大事。
- ・加害者と被害者がいて、支払に関してトラブルがあった場合に、お金で解決するのは短絡的であり、元のトラブルが解決していない。当事者同士で話し合って解決すべき。
- ・お金を出すのは事務的なことであり、規定があるのなら利用するというだけのことなので、設けてもよいと思う。
- ・件数が多いと、予算的に大丈夫かという問題もあるのではないか。
- ・今年、野田小では規定を利用した事例が3件あり、費用は計2,000円程度だった。養護教諭に意見を聞いたところ、規定があれば医者にかかることを勧めやすいそうである。
- ・学校で腹痛が発生し病院に行った際の医療費が1,500円未満だった場合もお金を出すということになってしまう。どの程度の怪我や発病で規定を適用させるのか、選別が難しい。
- ・範囲が広すぎて、きりが無いと思う。運用が難しい。

<結果>

上記の規定は、設けないこととする。

◎P T A事業計画について

部会資料5の案を基に、令和4年度事業計画の検討を行った。

<主な意見>

- ・親子レクの実施有無等は、新型コロナの影響もあり、今のところ未定である。開校後、検討することとしたい。

- ・家庭教育学級は、1～6学年で行うのか。
- ・家庭教育学級は1学年だけというイメージである。
- ・下吉影小では、親子レクと家庭教育学級の区別があまりない。
- ・上吉影小では家庭教育学級を1年生で実施しているが、本年度は新型コロナの影響から、実施しない。
- ・野田小では、学年委員の活動ではなく、家庭教育学級単独で活動しており、家庭教育学級長・副学級長を、学年委員長とは別に決めている。
- ・家庭教育学級は1年生の学年委員長の充て職とすることも考えられる。

<結果>

- ・親子レクについては、開校後、検討する。
- ・家庭教育学級については、保留とし、次回の部会で、再検討する。

◎専門委員会（地区委員会・学年委員会）について

新PTAでは、地区委員会委員長は旧小学区（野田・上吉影・下吉影）の輪番、学年委員会委員長は第7学年委員長としているが、副委員長については、それぞれどのようにするか、検討した。また、地区委員をどのように選出するか、検討を行った。

○副委員長の決め方

<主な意見>

- ・地区委員会副委員長は、委員長の地区（旧小学区）以外の2地区としたい。
- ・学年委員会は、委員長が7学年の学年委員長であるため、副委員長2名も7学年というイメージである。
- ・運動会の駐車場誘導を学年委員会が行うが、運動会は1～6学年、7～9学年で分けて行うため、副委員長も7学年というのは問題があるのではないかと。小Pも入れた方がよい。
- ・7学年と6学年ではどうか。委員長にとっては、副委員長に同じ学年の人がいた方がやりやすいと思う。
- ・6学年と5学年の学年委員長の充て職でよいと思う。

<結果>

- ・地区委員会副委員長は、委員長の地区以外の2地区より選出する。
（開校初年度の委員長は上吉影のため、副委員長は野田・下吉影）
- ・学年委員会副委員長は、6学年と5学年の学年委員長とする。
（開校初年度だけは、旧小学区を割り当てし決めるため、学年委員会委員長は7学年・下吉影、副委員長は6学年・野田と5学年・上吉影）

○地区委員の選出

<主な意見>

- ・委員の選出を、どのようにするか。各地区、1～9学年から1名を選出することになるが、小・中で分かれて集まると、2名挙がってしまうことになる。
- ・地区によって選出方法は異なる。
- ・各地区に任せて決めてもらえないと思う。
- ・小・中で全く交流がない地区はどうすればよいか。上吉影では、子ども会は1～6学年までのため、小・中で集まる機会がない地区がある。
- ・中学校の常任委員（地区委員）に依頼し、小・中合わせた中から1名出してもらってはいかんか。
- ・基本は中Pとし、中Pがいない地区は小Pから選ぶという考え方もある。
- ・立哨活動を行うとなると、小Pが中心となるのではないかと。

<結果>

保留とし、立哨活動についての方針決定後、改めて検討する。

◎立哨活動について

現在は各地区によって立哨活動（見守り）の実施形態は異なるため、開校後の立哨活動の扱いをどのようにするか、検討を行った。

P T A活動の一環として実施するのか、各地区の自主的な活動として実施有無は地区に委ねるか。

参考：玉里学園義務教育学校の場合⇒P T A活動として位置付け

	R 3年4～5月	R 3年6月以降
日数	毎日	週2日（月・木）
箇所数	各小学校において決定	全15箇所

実施箇所：通学路内危険箇所、バス乗降所等

上記日数・箇所数以外の実施は、各地区の任意での活動とする

R 3年6月以降は、地区委員会において活動や箇所数見直しの上、実施

<主な意見>

- ・野田小では、学校から文書が出ており、地区で行っている。
- ・上吉影小では、地区で自主的に行っている。生活指導委員会では、文書が出ている。
- ・下吉影小では、地区で自主的に行っている。文書は出していない。
- ・文書が学校から出ているのであれば、P T A活動の一環になっているといえる。
- ・P T Aでどこまで取りまとめができるか、疑問である。
- ・実情が分かっている地区、子ども会に任せた方が、スムーズだと思う。
- ・通学路が変わり、立哨が必要な箇所も変わると思われるので、地区に任せた方がよい。
- ・学校付近の地区は、多くの児童の通り道となるため、自分の地区以外の児童に対しても見守りを行うことが考えられる。玉里の場合は、同じ学区であるから他地区の児童も見守るということで、P T A活動として位置付けている。
- ・保留として、地区の現状をよく確かめてから、検討した方がよい。
- ・各小学校で新しい通学路の危険箇所の洗い出しを行っているので、その危険箇所を確認した上で、改めて話し合ってもよいのではないかと。

<結果>

保留とする。次回の部会で、新しい通学路内の危険箇所を確認した上で、再検討する。

◎顧問について

規約では、「前会長を顧問に置く」こととしているため、開校初年度は、どの学校の会長を顧問とするか、検討した。

<主な意見>

- ・小川北中P T Aの会長が顧問になるというイメージである。

<結果>

開校初年度の顧問は、現小川北中P T A会長とする。

校章デザインについて

<デザイン案募集結果>

○募集期間：令和3年4月8日（木）～6月10日（木）

○募集対象：①小川北学区出身の方
②小川北学区に在住の方
③小川北学区に在勤の方
④小川北学区の小中学校の児童生徒，保護者，卒業生

○応募総数：80件（学校に提出71，応募箱に投函6，郵送2，電子申請1）

○有効応募数：77件

無効応募数：3件

〔・デザインの説明を記入していただけなかったもの 2件
・同一人による複数応募 1件（応募者に連絡し2件→1件にいただいた。）〕

○応募案：【部会資料2】を参照。

類似したモチーフのものについてはまとめて記載している。

No. 1 ～ No. 20 小川北学区4校の校章を基にしたもの

No. 21 ～ No. 41 桜・コスモスなど，植物をモチーフにしたもの

No. 42 ～ No. 47 翼・羽

No. 48 ～ No. 50 飛行機（空港）

No. 51 ～ No. 70 その他のモチーフ

○複数色について

募集要項にて，デザインに使用する色は単色としているが，色を複数使用している応募があった（No. 71 ～ No. 77）。これらについては，採用する場合は色の修正を要する（白黒とするなど）。

<選定について>

○選定基準（募集要項より）

校章としてのふさわしさ，活用のしやすさ，わかりやすさ，独創性を総合的に判断する。

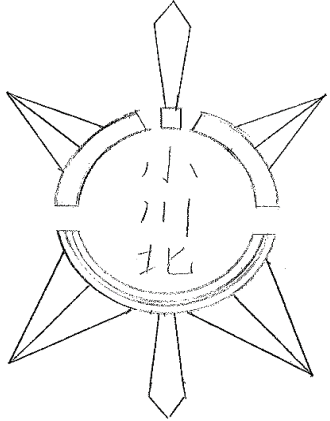
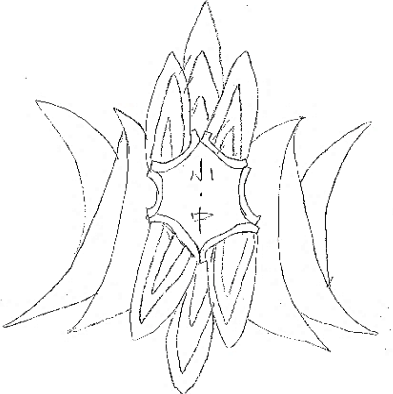
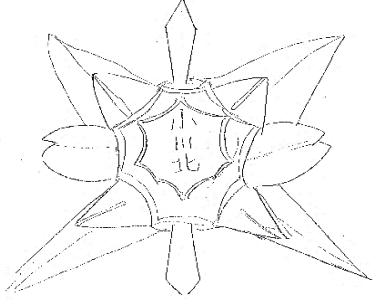
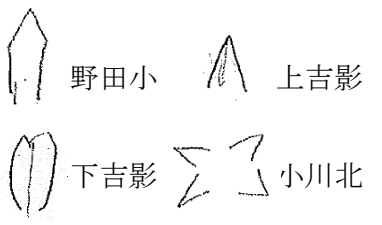
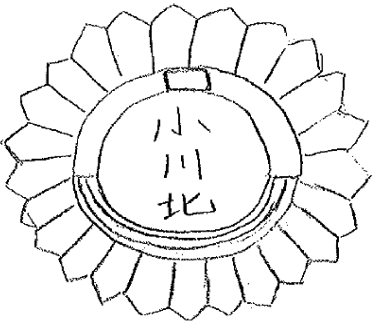
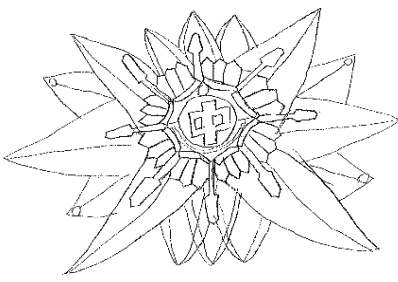
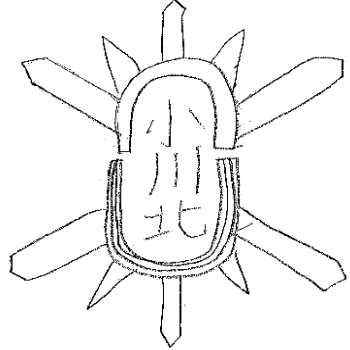
○部会での選定方法案

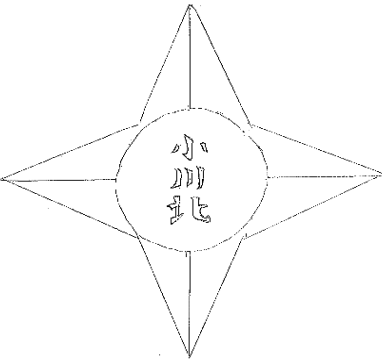
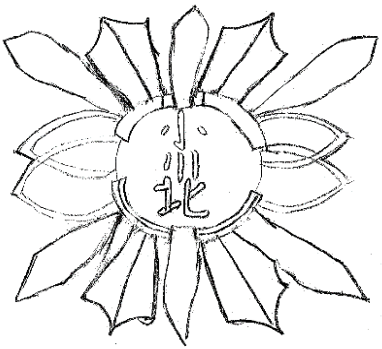
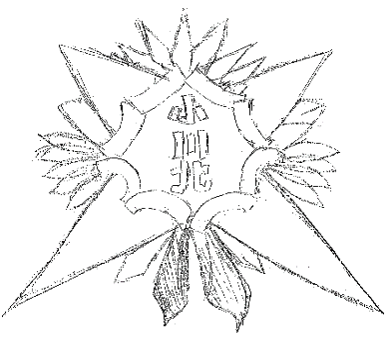





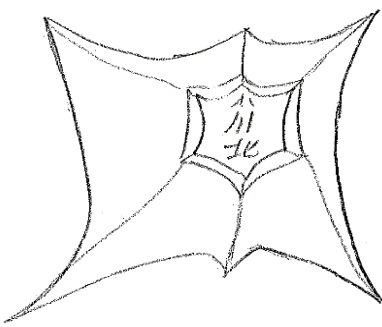
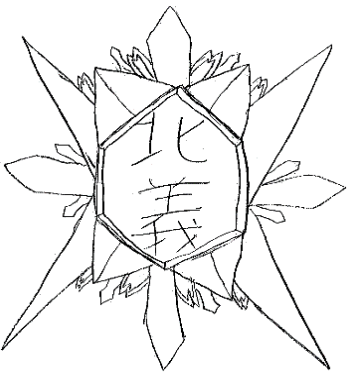
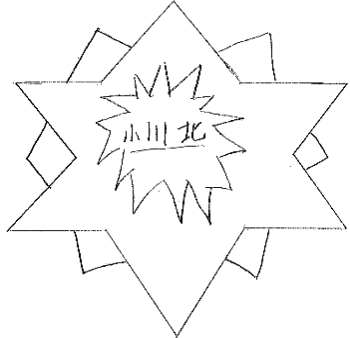



応募のあった中から，各部会員が，5点を投票する。


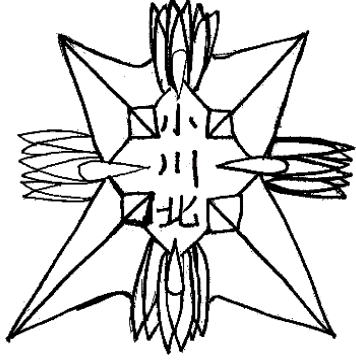
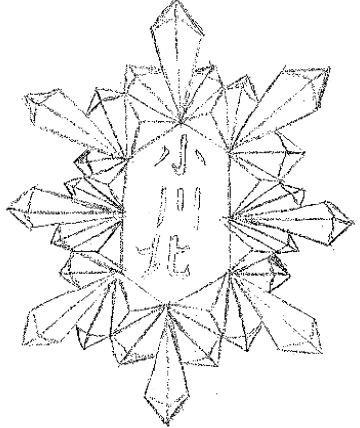
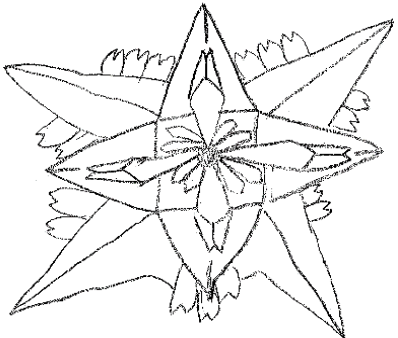
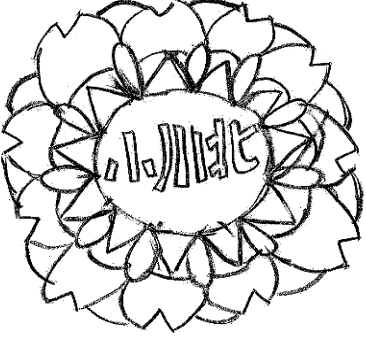
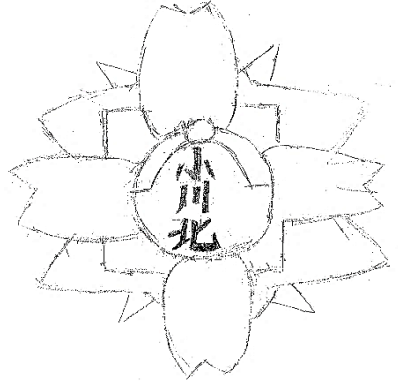
投票結果を参考に，話し合いを行い，10点程度を選定する。

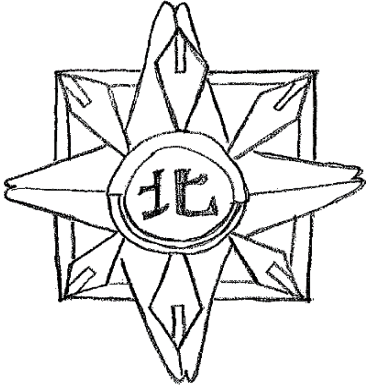
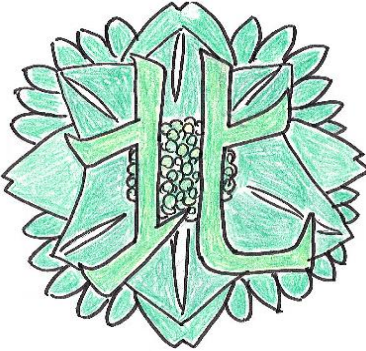
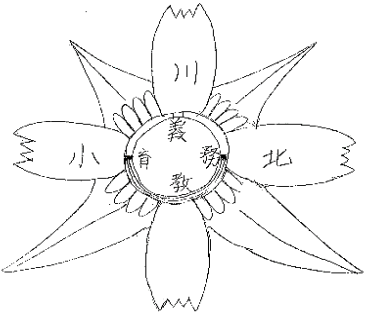
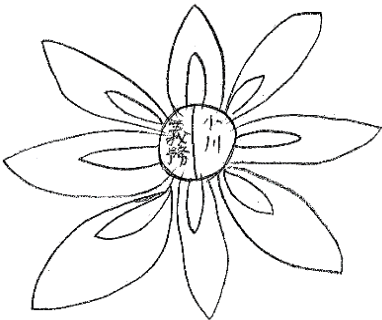
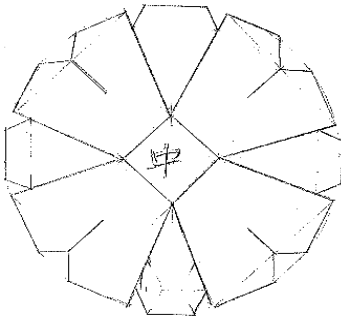
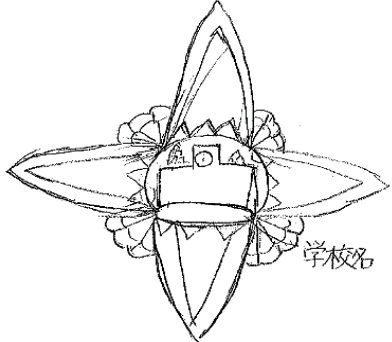
<デザイン選定後について>

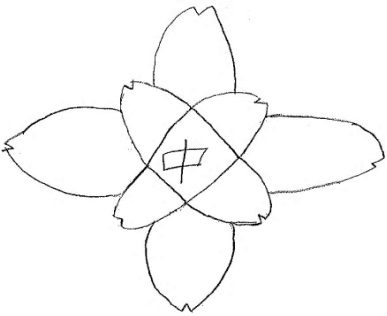
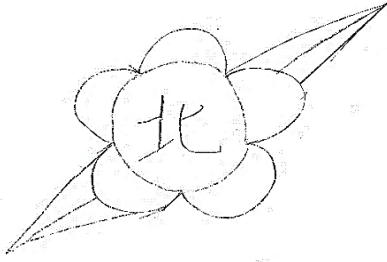
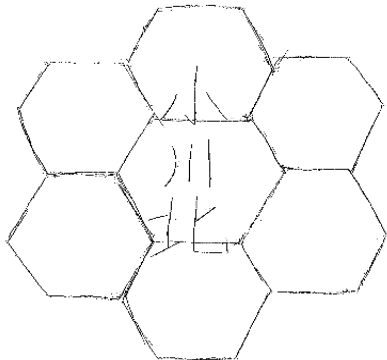
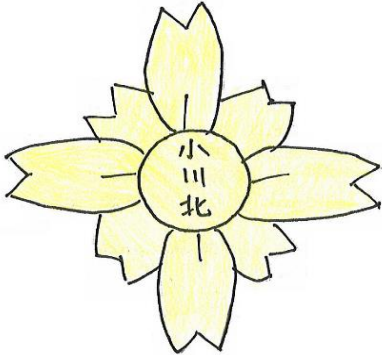
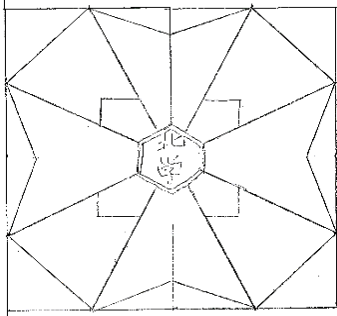
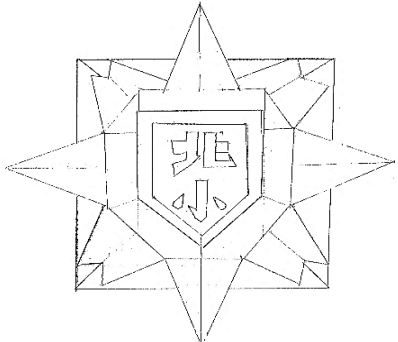
準備委員会での選定により1点に決定した後は，必要に応じて，デザイン事業者に修正・補正を依頼し，最終的な校章デザインとする。

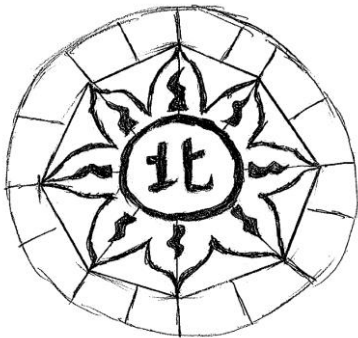
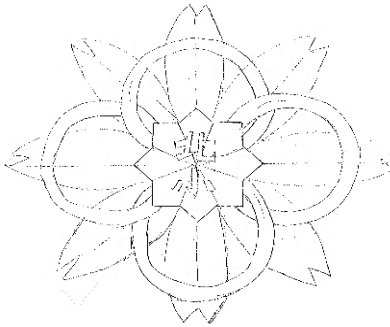
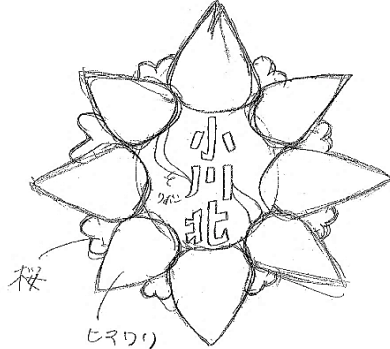
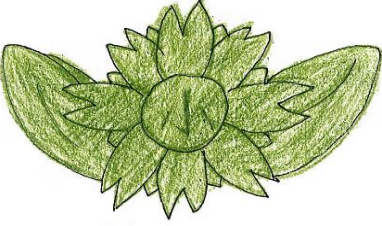
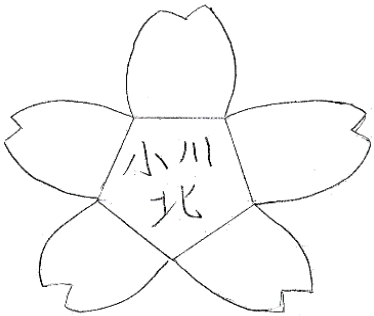
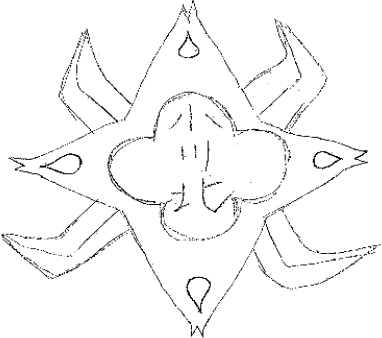
No.	1	2	3
案			
説明	<p>それぞれの北学区の校章を合わせて作りました。真ん中の円は、上吉影小、下吉影小の校章から。上下の野ぎくの花弁は、野田小から。横は北極星の星を、小川北中から、いただきました。4つの校章を合わせることで、併合をしても、それぞれの学校が引き継ぐ歴史は変わらないということを表現しました。</p> <p>野菊→素朴で純情、清らか、誠実、逞しく、きびしく、気高い 北極星→協力、友情</p>	<p>主に北中の校章をモチーフにしました。縦に長いのは、小学校から中学校までの9年間を表しました。</p>	 <p>それぞれの学校の校章の部分を抜いて書き加えました。</p>
No.	4	5	6
案			
説明	<p>周りの部分は野田小の所を少し丸くして上・下吉影小の真ん中の所をくっつけました!!</p>	<p>それぞれの学校の校章を一部を組み合わせました。理由はそれぞれの学校の先輩が受け継いできた校章をいい部分だけ組み合わせてまた新しく受け継いでいきたいからです。</p>	<p>全部の学校を混ぜて作りました。</p>

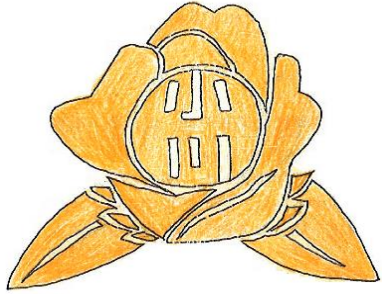
No.	7	8	9
案			
説明	<p>中心の円は、凹凸がなくて誰に対しても平等で広く、まあいい心がある生徒を表している。そして4つの手裏剣型のものは、この学校を卒業すると生徒はそれぞれの道に東西南北に進みはじめる。卒業して進む道はバラバラになるけど、小川北義務教育学校の生徒だったというのは変わらないという意味。モチーフは小川北学区の小中学校の校章。</p>	<p>  → 北中  → 野田小の  をアレンジしたもの  → 上吉影小  → 野田小 3つの学校と中学校がくっついて統一するから、まぜてみた。 </p>	<p>下吉・上吉・野田小の校章から、特徴のあるものを選び、できるだけ詰め、母校を大切にする気持ちをもってほしいという意味があります。また、蝶のような見た目ですく美しく羽ばたくようになどの意味があります。</p>
No.	10	11	12
案			
説明	<p>小川北中学校をモチーフにして書きました。元気で輝くようになってほしい意味で星のような形にしました。</p>	<p>基本的に大体の校章を合わせたようになっています。(一部変更あり) 参考:野田・上吉影・下吉影・小川北中学校の校章</p>	<p>  の部分は上吉影小学校をイメージして、  の部分は下吉影小学校をイメージして、  の部分は野田小学校をイメージしました！ </p>

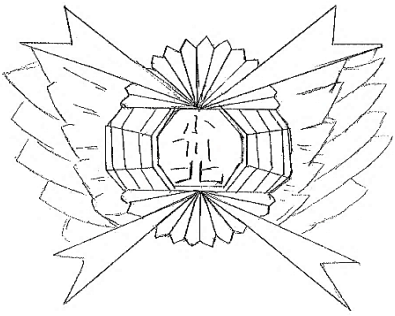
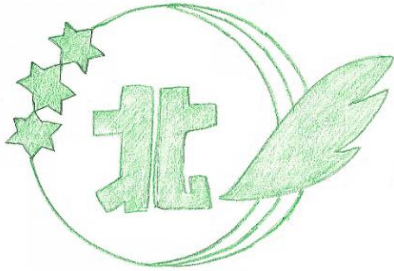
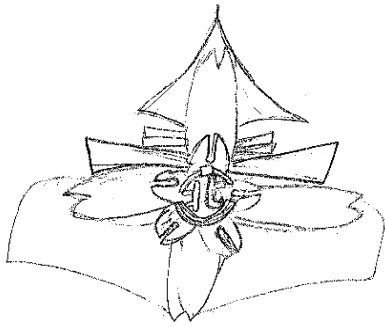

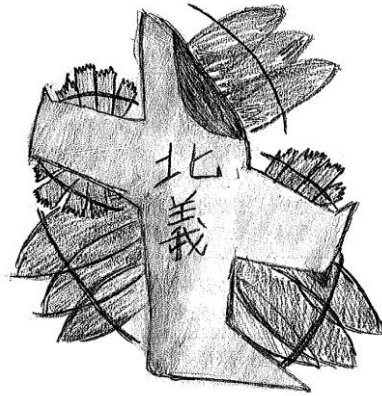
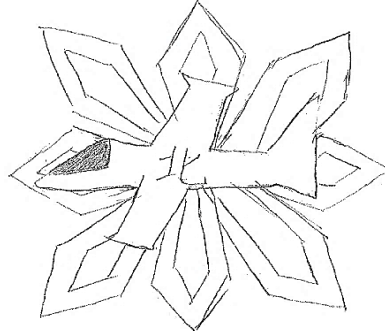
No.	13	14	15
案			
説明	北中の校章を参考に書きました。	中央には各小学校デザインを合体させて、後ろには小川北中学校のデザインにして、小中学校が合わさって、でも小中学校の面影を残しながら小川北義務教育学校を創っていくのをイメージしてつくりました。	同じ形でデザインすることによって小学校・中学校の統一性、クラスごとの団結力を表しました。母校の野田小の校章をモチーフにしました。
No.	16	17	18
案			
説明	野田小学校の校章と上吉影小学校の校章と下吉影小学校の校章と小川北中学校の校章を合体させた。	合併するすべての学校の校章を合体させた。	合併する3組の校章を組み合わせた。 桜は下吉影。ミニ三角は野田。 でっかい六角形は上吉影。手前に下吉影、次に上吉影、次に野田


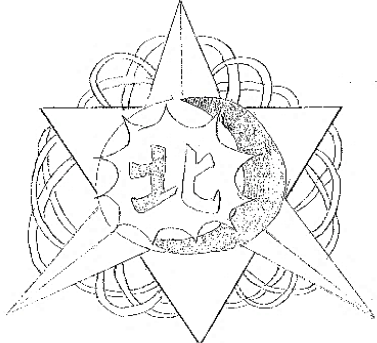
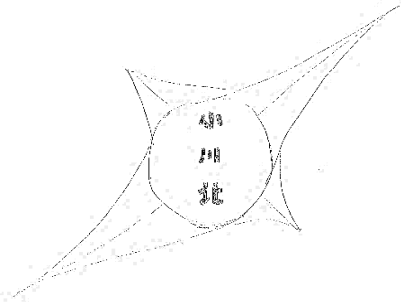
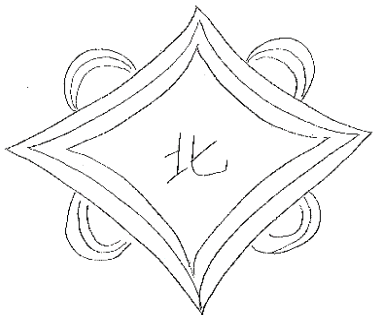
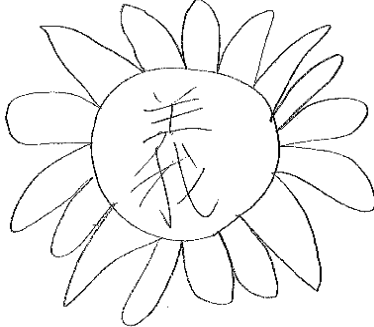
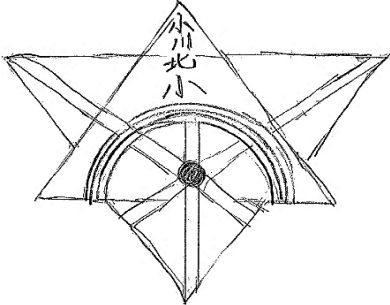
No.	19	20	21
案			
説明	野田小, 上吉影小, 下吉影小, 小川北中の元の校章を全て合わせて考えました。真ん中の「北」は小川北義務教育学校の北であることを示すためです。自分は野田小, 小川北中の卒業生なので, こういう学校になってほしいという気持ちを込めて, デザインしました。正方形の部分は, 4つの学校が合わさっていることを指しています。	小川北なので, 北の字。そこに上吉影小, 下吉影小, 野田小の校章をあわせてみました。	小美玉市の花といえばコスモスです。そして, それぞれの前の校章を用いて書きました。
No.	22	23	24
案			
説明	花びらは人を表し, それらが協力し合わさって1人1人が独自に輝いていき, 良い学校にする。	桜をモチーフ 図形のような所を使った。	ちゃんと学校だと分かるように真ん中に学校の絵をかきました。外側の花びらみたいなのは, 他の学校と同じく書き, 花みたいなのは, 学校が穏やかに見せるために, 同じく書きました。

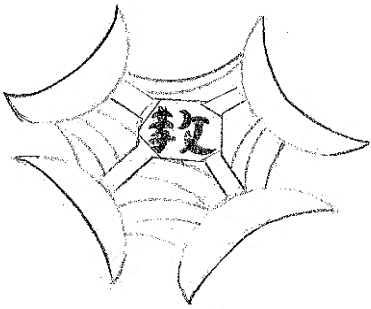

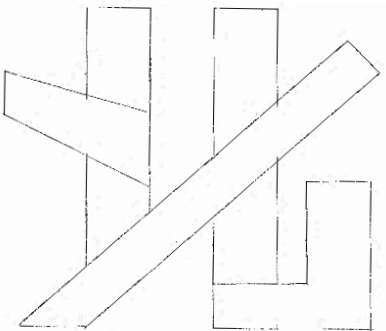


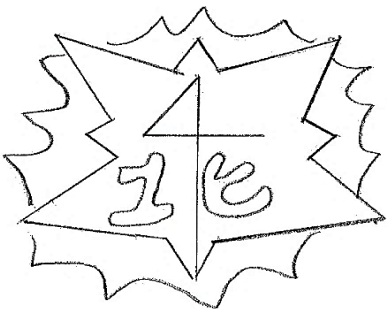
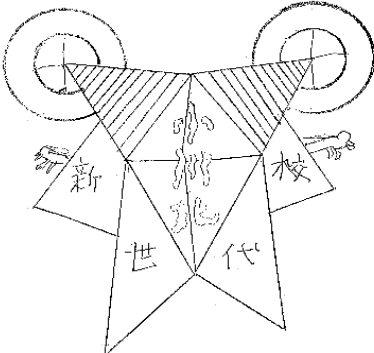
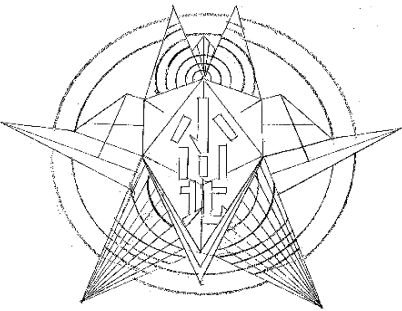
No.	25	26	27
案			
説明	サクラをモチーフにした。新しくできる学校で、春らしく、自分らしくいてほしいから。	桜の花のようにこの学校がきれいで美しく華やかを願ってこれにしました。とんがっているところは針のようにメリハリを持ち、光沢を表現しました。	花の形にしました。またカクカクにして頑丈な感じを出しました。
No.	28	29	30
案			
説明	コスモスの花びらをモチーフにしました。コスモスは小美玉市の花なので、取り入れました。書いている途中に花びらの形が桜にも見えてきて、新しい学校に良いんじゃないかと思いました。	お花を書いて華やかにして、学校名を略して書きました。「1人1人が活躍できる」という思いがこもっています。	桜を入れました。◡のマークは、盾をイメージしました。決まりが守れるかと思ったからです。角々しているのは、きちんと礼儀正しくを入れようと思ったからです。

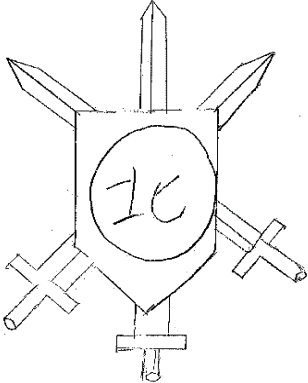
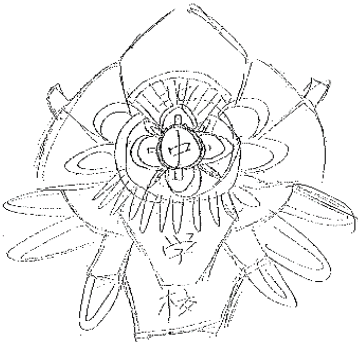

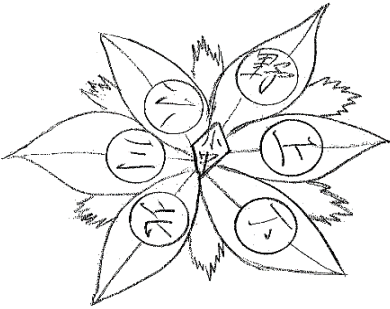
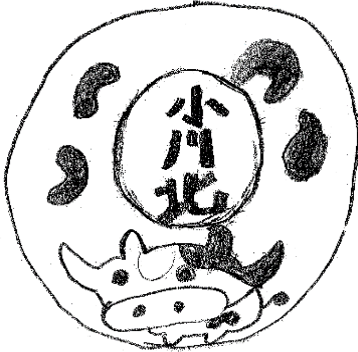

No.	31	32	33
案			
説明	真ん中を太陽と花にした。丸にした。北を入れた。	真ん中の星……生徒 4つの輪……つながり, 仲間, 絆, みんなで一つ うしろの花弁……小美玉の花・コ スモス	ヒマワリのように全員が優しく, 明 るく育成されることを意味する。桜 は進学・進級を意味していて, 最 最終的に最後は笑顔で終われるよ うにと願いを込めました。
No.	34	35	36
案			
説明	小美玉の花コスモスをモチーフに している。色は「安全」「健康」「希 望」「平和」の意味がある緑色を 使っている。	桜(ソメイヨシノ)の花言葉: 純潔 (心が清らかで, けがれがないこ と) 学校生活に合うと思ったからで す。	上下左右にある2つの角は, 小美 玉市の小川のニラをイメージした ものです。そして斜めにある角 は, 野田小学校の校章をイメージ しました。斜めの角の直線は, 小 川北中学校の校章をイメージしま した。中のつぼみは, ニラの芽で す。上下左右の角のニラは, 小川 北義務教育学校の生徒が成長す るよにという意味です。

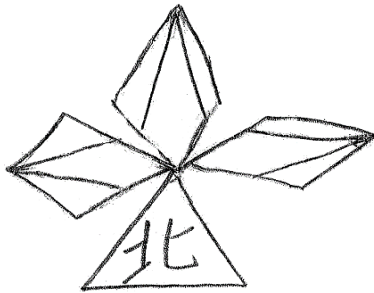


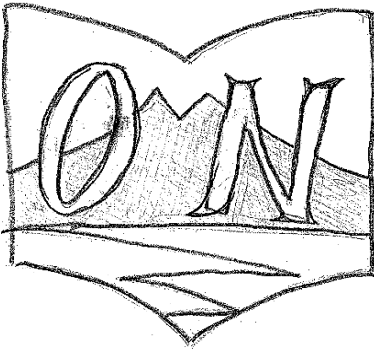

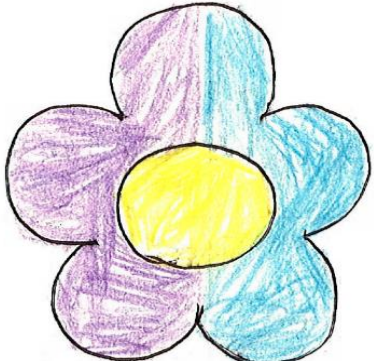
No.	37	38	39
案			
説明	まわりのラインは、左は「小」右は「川」を表現。クローバーは4つの学校が合併したので	小美玉市の花コスモスと小川北義務教育学校を「OKG」として中心に入れた。	校章のモチーフにしたバラの花は、茨城県の県章と同じ意味にして、オレンジ色は「絆」や「信頼」の意味があるので生徒にもそういう関係になってほしいので上のデザインにしました。
No.	40	41	42
案			
説明	3地区が1つになり、一緒に学び切磋琢磨して新たな歴史を創り新たな花を咲かせていってほしいという想いを込めました。	小川北の○の横のやつは、羽(本当はもう少し羽っぽくしたかった...)をイメージしました。1人1人が夢に向かってはばたいていけるように鳥の羽をイメージしました。	小・中ともに一つになるという意味で羽を2つかきました。モチーフは「羽ばたく」です。小学・中学はまだ夢の途中なので卒業までにこの全ての羽がそろって自由に夢に羽ばたけるといいなと思い考えました。羽1本1本に9年間の思い出をつめて羽ばたいてほしいと思いを考えました。


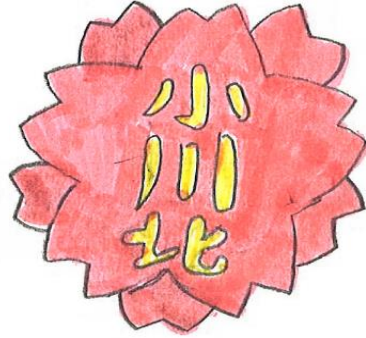
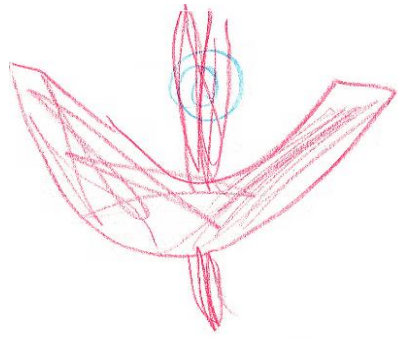
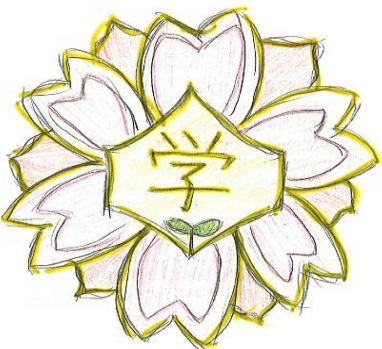
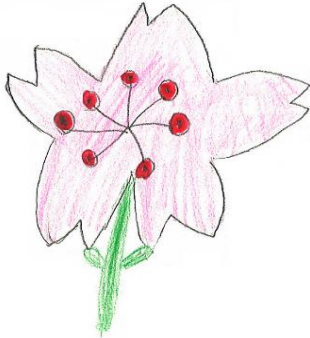
No.	43	44	45
案			
説明	小川北義務教育学校はいろんなことに鳥のように羽ばたける学校という意味で羽のようなデザインを入れました。	星は小川北中学校の校章 北極星の「北」を残し野田, 上吉, 下吉を表す3つの星にしました。みんなが羽ばたくようにデザインしました。	これまでの小川北中学区3つの小学校と小川北中の校章を取り入れました。そのまわりに翼をつけて、これから4校が統合し羽ばたいていく思いを込めました。
No.	46	47	48
案			
説明	小川といえば茨城空港。市のキャラクターも飛行機と牛をモチーフにしたキャラクターだったり、飛行機というイメージがあったので、翼をイメージしてみました。また、3つの小学校が集まって新たに飛び立つという想いも込めてみました。今までにない形でかっこいいと思います。自衛隊の迷彩柄など小川ならではの模様を入れてもいいと思います。	<ul style="list-style-type: none"> •北中=空港(飛行機) •小美玉=コスモス 	近くに空港や基地(百里)があるので、飛行機をモチーフに！「小川北義務教育学校」の「北」を入れた！

No.	49	50	51
案			
説明	<p>空港と近くにある筑波山を書いた。</p> <p>4つのラインは4つの学校</p>	<p>よく見ないと分からないけど月と太陽を書いたんです。月と太陽は真逆でそれを人に表したらいろんな人がいるんだよっていう意味なんじゃないかって思い月と太陽を書きました。あと分かりづらいんですけど絵の中の三角を支えている、物で例えたら針金みたいなのを書きました。なぜかという三角が三つ、これは野田、上吉、下吉の小学生、大きな三角が北中生(野田・上吉・下吉からきた中学生だから大きな三角にまとまっている)針金みたいなのが、先生方や保護者や地域の方です。なぜなら私のことをいつも支えてくれているからです。</p>	<p>小川北中学校のデザインのを少しいろいろ消してデザインしました。</p> <p>モチーフにしたものは方位磁針です。右にも左にも迷ってもいいから何事にも自分の未来のために一生懸命突き進むという意味を込めました。</p>
No.	52	53	54
案			
説明	<p>✧ =しっかりと挨拶ができる。</p> <p>☺ =行事等には全力で取り組める。</p> <p>✧ ↔ ☺ =はじめを表した。</p>	<p>義という字が入っているから。</p>	<p>三角形は上吉影、下吉影、野田の3つの小学校のことを表しています。真ん中の虹は、3つの小学校の輪が広がって、みんなが楽しく生活できるようにという願いを込めました。ストライプの三本は3つの学校の力が結集するという意味です。「小川北小」は中学校と小学校の見分けがつくようにしました。</p>

No.	55	56	57
案			
説明	<p>小川北義務教育学校から教わる生徒たちを月として表し、つながっているということを表し、線で結びました。友達との仲、学校との仲を表すため何本も糸を繋げました。向きなどが違うのは様々な仲を表しています。</p>	<p>みんなが明るい表情になってほしいと思いこれにしました。星に枠を入れたような感じにしました。</p>	<p>小川北義務教育学校の「北」の字をモチーフにしました。 意味①縦の線は太く!!→自分自身を大切に、大きな心をもって。 ②  はだんだん太くなる!!→学年が上がるほど感謝の気持ちを忘れずに。 ③斜めの線→たくさんの人から支えてもらっていること ④  の部分は直線に!!→人が礼をする姿→常識を身に付ける、優しい心。</p>
No.	58	59	60
案			
説明	<p>これは「よん」ではなく、方位磁石の「北」を表しています。小川「北」だからです。</p>	<p>羊, 図形, 鳥を組み合わせました。</p>	<p>星の形</p>

No.	61	62	63
案			
説明	剣と盾をイメージした。	オシャレにしました。	<ul style="list-style-type: none"> ・小美玉市のマークがダイヤモンドのようなものなので、それをもとにした ・マーク内に野田小のマークの形を取り入れている ・マークの上の部分には桜をつけている
No.	64	65	66
案			
説明	小中の思い出のデザイン全ての上文字を使ってみました。小学校の思い出です。	おみたんをイメージしました。	真ん中に小川北のところの北を書きました。

No.	67	68	69
案			
説明	3つの小学校が重なったイメージ	小川北義務教育学校の「北」という文字のデザインにしました。	4つの学校が1つにまとまるように4つのマークを合わせた。
No.	70	71	72
案			
説明	<ul style="list-style-type: none"> •校章の型は教科書を意味し、勤勉をイメージ •筑波山(上), 霞ヶ浦(下)で小美玉市の自然をイメージ •「ON」はOGAWA NORTHを意味し、英語にすることで世界に通用する生徒を生み出すことをイメージ 	桜と星が好き	きれいだから

No.	73	74	75
案			
説明	桜の木と百里があるから戦闘機を書いた。	モチーフ:桜 意味:桜みたいに明るい学校にしたいから	ウルトラマンをモチーフにしました。
No.	76	77	
案		お花 ^が わきた 	
説明	桜をモチーフにしました。真ん中の芽はこれから成長する姿を表しました。学ぶことがまだたくさんある初期の芽から花が咲くところまでがんばろう！という意味	お花(桜)をイメージして明るい学校にしたいと思いました。	

スクールバス乗降所の設置について（荒地公民館→前野公民館→学校ルート）

<経緯>

これまでに、下吉影小の保護者より、新たな乗降所の設置について、以下の要望があった。

- ・前野公民館乗降所までの経路は、歩道がない区間が長くあるため、「下吉影官舎」や「(有)オオヌキ」を乗降所の候補地として検討してもらいたい。

<検討>

準備委員会では、運行ルートが決定し、既に同ルートにより運行委託が決定していることから、「乗降所設置基準」や児童の通学の安全性等について、以下のとおり検討を行った。

①乗降所設置基準

- | | | |
|---------|-------------|---------------|
| 下吉影官舎 | ⇒前野公民館：900m | ⇒荒地公民館：1,200m |
| (有)オオヌキ | ⇒前野公民館：600m | ⇒荒地公民館：800m |

下吉影官舎については、乗降所間の距離が概ね1 km以上であると判断できる。
よって、以下は、「下吉影官舎」について検討

②敷地の利用

下吉影官舎の利用について、百里基地に確認したところ、中型バスが進入することによる安全上の問題や、官舎住人以外が乗降のために敷地内に立ち入ることを考慮すると、乗降所としての利用は難しいとの回答があった。

その後、子どもたちの通学の安全性を踏まえ、乗降所を設置してもらいたい旨、あらためて回答があった。

③バスが通る経路等

官舎は、既に決定しているバスルートの経路上にあることから、乗降所を設置した場合も、経路の変更はない。また、ルート全体でのバス利用人数は変わらないと想定されるため、バスの大きさも変更はない。ただし、乗車時間については、官舎での乗降時間分、増えることになる。

荒地公民館→前野公民館→下吉影官舎→学校 乗車時間：23分（乗降時間3分想定）

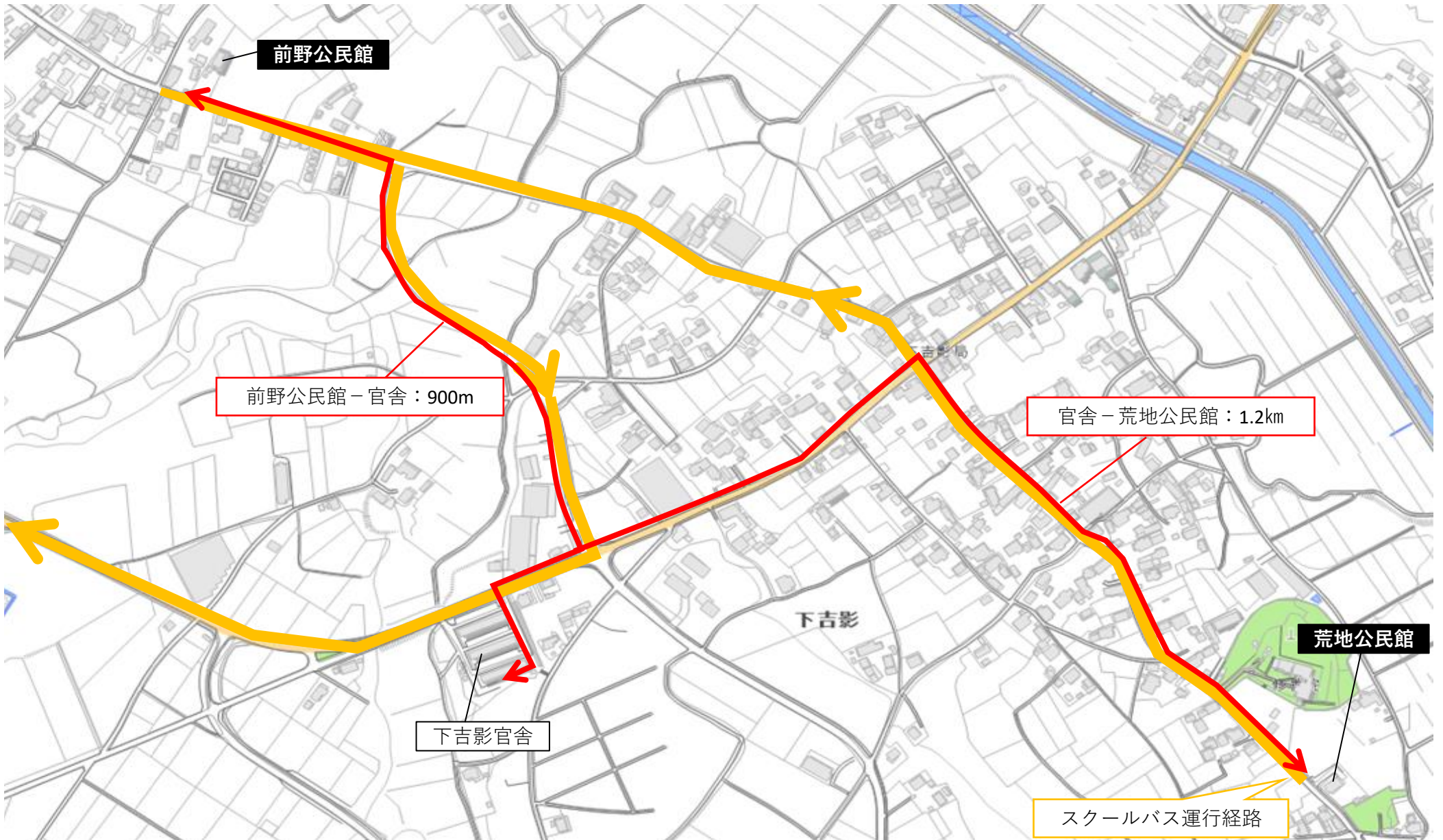
④地区内での意見

官舎がある宿地区内では、官舎に乗降所があれば利用するというので、意見がまとまっているとのことである。また、官舎までの通学路は、現在の通学路と大きく変わらないことから、通い慣れた道を通る児童が多い。

⑤乗降所としての整備

官舎については、改築及び駐車場が整備されており、現利用ができることから、新たな整備の必要がない。

乗降所位置図



	本部	専門委員会	
		学年委員会	地区委員会
活動内容 (規約)	・会の運営上の重要事項の協議, 企画 ・総会に提出する議案の調整	・各学年のPTA活動の計画, 調整 ・家庭教育学級	・児童生徒の校外生活指導 ・交通安全指導 ・学校内外の環境の整備
構成	役員及び校長 (+専門委員会委員長)	各学年3名 計27名 (委員長1名, 副委員長2名)	各地区1名 計23名 (委員長1名, 副委員長2名)
4月	開校式・入学式 本部役員会 PTA総会	学年PTA(司会進行)	地区委員会(委員長・副委員長の 選出)
5月	本部役員会 運動会(1~6年)	本部役員会(委員長のみ) 運動会(1~6年, 駐車場誘導)	本部役員会(委員長のみ) 奉仕作業(野田)
6月	小川北学区コミュニティ委員会		小川北学区コミュニティ委員会
7月	本部役員会	学年PTA	
8月			奉仕作業(上吉影・下吉影・学区 外)
9月	体育祭(7~9年)	体育祭(7~9年, 駐車場誘導)	
10月	北創祭		
11月			
12月	本部役員会	学年PTA	
1月			
2月	本部役員会	学年PTA 本部役員会(委員長のみ)	本部役員会(委員長のみ)
3月	卒業式 PTA会計監査		